

生成 AI の汎用プラットフォームの導入に向けた情報提供依頼（RFI）実施要領

神戸市企画調整局デジタル戦略 ICT 業務改革担当

1. 本情報提供依頼の目的

本市では、全職員が積極的に生成 AI を活用し、さらなる庁内業務の効率化や市民サービス向上の取り組みを推進していくため、汎用的な生成 AI のフロントエンドプラットフォームの導入を検討しています。

本情報提供依頼は、事業者が有する技術、ソリューションを活用した生成 AI サービスの情報・提案を広範囲に得ることを目的としています。提案内容については、来年度の予算要求や試行実施等に向けた内部検討に活用させていただきます。

2. 情報提供要領

情報提供は以下の要領をお願いします。提案範囲の全てを網羅する必要はなく、一部のみの提案でも差し支えありません。一部に具体的な要件を記載していますが、現時点で厳密に要件を満たす必要はありません。

(1) 様式

様式は自由とします。Word, Excel, Powerpoint, PDF 等のデータでご恵与ください。

(2) 提出期限（募集期間）

令和 7 年 6 月 11 日（水）～ 令和 7 年 6 月 30 日（月）まで。

※希望として期限を設けていますが、期限を越えて提出いただいても差し支えありません。

(3) 提出先

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 神戸市役所 1 号館 11 階

神戸市 企画調整局デジタル戦略部 ICT 業務改革担当

TEL: 078-322-6945 E-mail: ict_innovation@city.kobe.lg.jp

(4) 提出方法

提出方法は、メール、郵送、宅配、直接持参のいずれかでお願いします。

(5) 質疑応答

提案に際して本市の現況等のヒアリングを希望される場合は可能な範囲で対応いたします。

(6) その他

- ・ 提出された資料は返却いたしません。情報提供に要した費用は貴社のご負担になります。
- ・ 提出された資料は非公開とします。但し、本市が内部検討を進めるにあたり、守秘義務を課した民間のコンサルタント等に当該資料を貸与することがあります。
- ・ 本 RFI の内容は検討中のものであり、将来的な実施を確約するものではありません。また、本 RFI により貴社に将来入札に応じる義務が生じたり、貴社に特別の地位を約束したりすることはありません。

3. 情報提供依頼の背景（現状の取り組み、課題）

本市では、ChatGPT 等の生成 AI による情報漏洩、市民の権利等の侵害が生じないよう、令和 5 年から情報セキュリティポリシーの改定や、生成 AI ガイドラインの策定を進め、令和 6 年 3 月には行政として安全に AI を活用していくための包括的な AI 条例を制定しています。

そのようなルール整備と並行して、Microsoft Copilot の全庁利用や Allganize 社の生成 AI プラットフォーム（Alli）を用いた職員 FAQ の構築、オープンソースの生成 AI プラットフォーム（Dify）の検証など、行政機関として業務効率化や市民サービス向上に生成 AI を積極活用していく取り組みを進めてきました。

【これまでの取り組みを通じた課題・要望】

- ① 職員の利便性を考慮し、LGWAN 環境から自由に利用できる環境で構築したい（※）。
- ② 入力プロンプトのテンプレート機能のようなものを持たせた汎用チャットボットが欲しい。
- ③ RAG や開発したアプリ等を一覧から選択して起動できるポータル画面が欲しい。
- ④ 入力として Word、Excel、PowerPoint 等のファイルを読み込ませ、処理結果を同様にファイルで出力させる機能が欲しい。
- ⑤ 単に既存のドキュメントを読み込ませただけの RAG 環境では十分な検索精度が出ないため、RAG の精度向上の仕組みや RAG 以外の学習方法の仕組みを導入したい。
- ⑥ 職員が容易にワークフローやエージェント等のアプリが開発できるよう UX に優れたローコードの開発環境が欲しい。

※ 神戸市は地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドラインの「三層の対策」として α モデルを採用しており、インターネットには、事務処理用 PC から仮想端末を起動し、仮想端末上のブラウザからアクセスする必要がある。そのため、インターネット上に実装した利用環境を利用する際には、仮想端末を経由することのタイムラグやファイル送受信にはサンドボックスを経由する必要がある等、UX 面での課題がある。

4. 提案を求める事項

現状課題に対する解決策を検討していくにあたり、以下の提案を求めます。なお、提案に際して、実現までに要する期間・費用も併せてご提示ください。

(1) 前提とするセキュリティ要件

- ・ 情報漏洩の観点から(1)入力データを学習に利用しないこと、(2)監査等の目的でサービス提供者がデー

データを保存・閲覧しないことを保証できること。本市では、上記を満たしたサービスとして Azure OpenAI Service を使用しているが、条件を満たすものであれば、それ以外でも利用可能。

- データの保存場所は国内とすること。例えば、Azure 上に実装されている場合は、東日本もしくは西日本リージョンであること。
- 入力内容、返答内容等のログをサービス独自の機能として保存できること。(2) 求める提案要件は希望ベースで記載しており、全ての要件を満たしていない場合でも提案を希望します。

機能分類	要件（希望ベース）
① 環境構築	オンプレミス（本市の仮想化基盤を利用）、Azure（本市から専用線接続の環境がある）、LGWAN-ASP での構築が可能であり、LGWAN 端末から自由に操作できる環境であること。
	ただし、LLM は A z u r e 経由の特定通信で外部リソースに接続し、A z u r e Open AI や V e r t e x A I 等の利用を想定している。
② ポータル画面	汎用チャットボット、RAG ナレッジの選択、開発アプリ等を集めたポータル画面を有すること。
	アクセス権限管理や操作ログの管理、統計解析の機能を有すること。
③ LLM によるチャット機能 (ChatGPT 相当のもの)	[基本機能]セキュリティ要件を満たす LLM によるチャット機能 (ChatGPT 相当のもの)
	プロンプトのテンプレート機能を有すること。
	Excel や Word 等のファイルの読み込み・出力機能を有すること。
④ RAG 機能	[基本機能] 市内マニュアル等の独自データを学習 (RAG 等) させ、それに基づいた返答を行うチャットボットを構築できること
	独自データとシナリオベースの FAQ などとを組み合わせで返答を行うチャットボット機能 (FAQ 機能の代替) を有すること。
	RAG 参照したデータの参照チャックや元ファイルを表示できること。
	RAG に登録するドキュメントのデータ整形やクレンジングの機能を有すること（前処理）。
	入力情報の加工（クエリ拡張/質問分解）機能を有すること
	ドキュメントから FAQ を生成する機能を有すること
	※Question to Question の用途
	チューニング前後の効果測定・評価が容易に行える機能を有すること
	RAG の検索精度を向上させる r e r a n k モデルやチューニングのツール、RAG 以外の学習方法を有すること。
⑤ アプリ開発機能	ローコードやノーコードで生成 AI を活用したアプリの開発が可能な機能を有すること (Dify 相当のもの)

⑥ 拡張性	本市の職員認証基盤と ActiveDirectory や OpenID での連携が可能であること。
	MCP 技術等を用いて、庁内のデータ基盤や庁内システムの API との連携が可能であること。